

# 水産ニュース

水産技術専門員が伝える村の水産最前線

2016年10-12月

## 最盛期の秋サケ漁

秋を象徴する北の魚“サケ”はどのように漁獲されるのか？サケの定置網漁の現場を伝える。

## 資源を増やす

寒い冬におこなわれたマゾイとコンブを増やす取り組み。取り組みの様子を伝える。そして、その効果を調べるために何をするのか？

## 細々と続く伝統漁業

月夜の磯に映える一点の光。そこでおこなわれる“ガタ漁”とは？細々と続く白糠の伝統漁に同行した。

## 日本の水産を旅する

隠岐諸島「西ノ島」に伝わるイカ寄せ伝説。伝説は本当なのか？記録的な不漁になった東通村のイカ漁の豊漁を祈願しにイカを祀る由良比女神社へ。



## 網に躍る銀色の秋サケ

村内漁港では秋から初冬の風物詩でもある秋サケ漁が盛んでした。定置網の中には銀色に輝くサケが泳いでおり、船上にひしめくように水揚げされます。力仕事の小型定置網漁を少しばかり手伝いましたが、慣れない体にはこたえました。体の使い方にコツがあるようです。今年は前年に比べて少ない漁獲でしたが、高い単価に助けられたようです。サケに混じって旬のヒラメやマダラも入っていました。



## 東通の水産資源を増やす

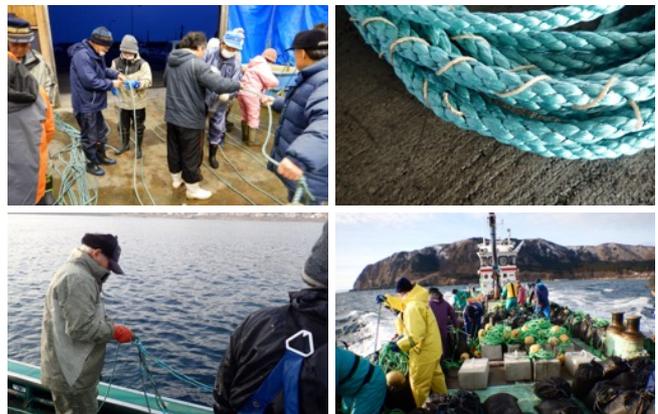
### マゾイ

尻屋漁協で高級魚マゾイの稚魚を放流しました。海で元気に育っているか調べるために、5,700尾に左腹ビレ切除の標識を付けました。片方の腹ビレが無いマゾイが獲れた時は、役場水産課まで連絡をください。マゾイは、10年でやっと35センチになるほど成長が遅い魚です。アラスカには、120年以上生きるソイも生息しています。



### マコンブ

階上町の施設で培養したコンブの種糸が届けられ、各漁協でコンブの立縄が投入されました。50センチほどに切った種糸を縄に挟み巻きつけ投入します。巻き付け方も色々あり、どれが効果的か調べるのも面白そうです。去年よりも水温が低い今年、寒いのが好きなコンブは再来年豊漁になるでしょうか？春に成長した姿を見に行きます。



## 月夜の磯で細々と続く伝統の“ガタ漁”

月夜の白糠の磯に光る一点の灯り。そこには岩の隙間をヤスで突く人影があります。昔から続く冬の光景、産卵のために磯にやってくる“ガタ”と呼ばれるギンポを獲る光景です。岩の隙間にヤスを差し込みながら、長年の経験と研ぎ澄まされた感覚でギンポを探していく名人。しかし、今では魚も減り、獲る人も少なくなってしまいました。獲ったギンポは寒風干しにして、正月料理として煮しめや昆布巻きにするようです。



### コラム『日本の水産を旅する』

年末、隠岐諸島を旅した。イカの豊漁を祈願するために。西ノ島にある由良比女神社には、「美しい姫君の手を噛んだイカが非礼を詫びに浜に寄るようになった」というイカ寄せ伝説が残る。偶然会った宮司さんも「子供の時は下校途中によくイカを拾って帰った。」と言うほど、伝説は事実であった。イカの寄る光景を想像しながら、豊漁を静かに心から祈った。

